

# 聖なる丘だより

第52号

■発行日／令和2年1月



## 病棟の様子

### もくじ

- 新年のごあいさつ..... P2
- 入院支援センターを新設しました ..... P3
- 栄養管理室のおすすめレシピ..... P4
- 栄養管理室が厚生労働大臣表彰を受表彰しました  
マンモPETをテレビで特集していただきました  
きららドームリレーマラソン2019に参加しました ..... P5

### 病院の理念

信頼される

私達は地域住民に安心できる病院を目指します。

親しまれる

### 基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、個人の情報を保護します。
2. 安全管理を徹底し、患者さまに満足される医療を提供します。
3. 最新の医療機器・設備による高水準の医療を提供します。
4. 地域医療機関との連携を強化し、患者さまのニーズに応えます。
5. 働き甲斐のある職場、健全な病院運営に努めます。



医療法人聖比留会

セントヒル病院

〒755-0155 山口県宇部市今村北3丁目7番18号

TEL(0836)51-5111 FAX(0836)51-9999

<http://www.sthill-hp.or.jp/st/>

セントヒル病院

検索





# 新年のごあいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は台風や豪雨により東日本、関東地方に甚大な被害が出ました。更には沖縄首里城の火災もあり大きな災害の年でした。被災地の方々に心より御見舞い申し上げますと共に1日も早い復興と再興を祈願したいと思います。又、昨年は猛暑にも悩ませられフランスでも46度の猛暑日がありました。台風、豪雨、猛暑など地球温暖化が関連すると言われており、このまま進むと更に巨大化する恐れがあります。世界が地球温暖化対策を真剣に取り組み、日本も被害の予防策を第一に考える必要があります。

さて、令和2年、今年の日本は先ずオリンピックです。東京での開催は56年ぶり2回目でアジア初の同一都市による複数開催です。日本国中が盛り上がるオリンピックイヤーになります。無事に成功裏に終わって欲しいと思います。

医療面に於きましては、日本は少子高齢化が進み2025年には団塊の世代が皆75歳以上になる超高齢社会になります。それに対する医療政策の一つに地域包括医療があります。自治体、地域住民、医療機関みんな一緒になって協力し地域の医療を守る考え方です。

弊院では一般診療は勿論、在宅や施設で療養されている患者さんで急性期症状があれば入院して治療、リハビリ等を行い再び元の生活が出来るよう支援しております。二次救急指定病院としての役割も分担しています。又、ご自宅では生活が困難な方には療養型の病棟を御利用いただいております。これからも急性期、慢性期どちらにも対応できるよう現在の体制を維持しながら地域医療に貢献したいと思っています。

長い歴史を持つ人工透析センターは最高の治療を提供させていただいております。PETセンターでは昨年より新たに乳房専用PET装置「エルマンモ」を導入致しました。従来のマンモグラフィ、エコー、MRIに加え乳がん検診に最新鋭の装置が加わり最高の検査を御提供致します。

これからも時代のニーズに合うよう、病院の特徴を活かして患者さんの為に、地域医療の為に更に進化して行きたいと思っています。御指導と御鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが本年が皆様にとって良い年になりますよう御健勝と御多幸を切にお祈り致します。



医療法人聖比留会 セントヒル病院  
院長 西嶋 雋嘉

# 入院支援センターを新設しました



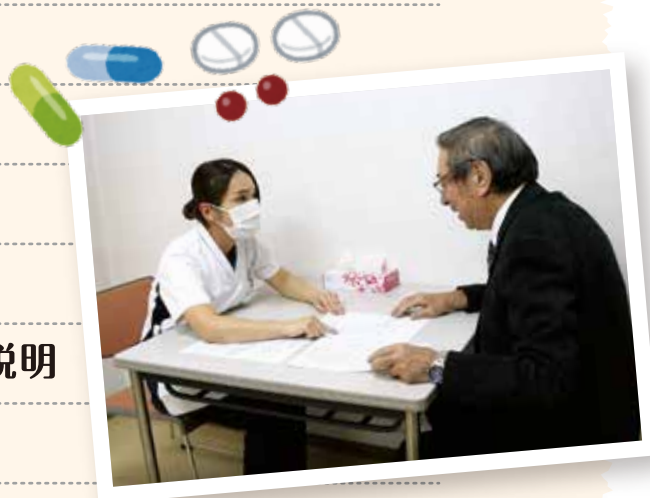
入院を予定している患者さまが入院生活や入院後にどのような治療過程を経るのかをイメージしていただき、安心して入院医療を受けられるよう、優しく丁寧な医療を推進する観点から入院支援センターを新設しました。入院支援センターでは入院前の患者さまに対して入院中に行われる治療の説明、入院生活に関するオリエンテーション、褥瘡に関する評価、栄養スクリーニングなどを実施し、入院前からの支援を強化することで「切れ目のない支援」を実現することを目的としています。



入院の予定が決まった患者さまに対して、入院中の治療や入院生活に係る計画に備え、以下のことを実施します。

## 1 入院前に以下の①から⑧を行います。

- ① 身体的・社会的・精神的背景を含めた患者情報の把握
- ② 入院前に利用していた介護サービス・福祉サービスの把握
- ③ 褥瘡に関する危険因子の評価
- ④ 栄養状態の評価
- ⑤ 服薬中の薬剤の確認
- ⑥ 退院困難な要因の有無の評価
- ⑦ 入院中に行われる治療・検査の説明
- ⑧ 入院生活の説明



## 2 入院中の看護や栄養管理などに係る療養支援の計画を作成します。

## 3 患者さま及び入院予定先の病棟職員と情報共有します。

病気になり入院しても、住み慣れた地域で継続して生活できるよう、また、入院前から関係者との連携を推進するために、入院前からの支援の強化や退院時の地域の関係者との連携を推進し、「切れ目のない支援」となるよう努めます。



## 栄養管理室のおすすめレシピ

### ～塩分の摂りすぎを防ぎましょう！～

日本人の食事は煮物や汁物が多く、塩分が多くなりがちです。1日分の塩分摂取目標量は、男性は8.0g未満、女性は7.0g未満<sup>※1</sup>と厚生労働省より設定されていますが、実際には男性は10.8g、女性は9.1g<sup>※2</sup>と、目標量を上回っているのが現状です。塩分の摂りすぎは高血圧やむくみの原因となり、放置すると動脈硬化などにつながります。塩分を控えて薄味に慣れることは大切ですが、ただ塩分を減らすだけでは料理をおいしいと感じられないこともあると思います。そこで今回は、塩分控えめでもおいしく食べることができるポイントをご紹介します。

※1 日本人の食事摂取基準 2015年版 ※2 平成29年度 国民健康・栄養調査

#### 減塩のポイント

- ✓ 酢やレモンの酸味、唐辛子やわさびの辛味を使う
- ✓ 生姜、にんにく、大葉、胡麻などの香りを使う
- ✓ かつお節、昆布、椎茸などのダシのうま味を使う
- ✓ すべて薄味にせず、1品だけ普通の味付けにするなど、味のメリハリをつける
- ✓ 醤油やソースは上からかけずに、少しずつ付けながら食べる
- ✓ 煮物や汁物に偏らず、焼く、蒸す、揚げるなどの調理方法も選ぶ

### 魚の中華風揚げ漬け



#### <材料(2人分)>

|       |             |
|-------|-------------|
| 白身魚   | 140g(2切)    |
| 酒     | 6g(小さじ1)    |
| おろし生姜 | 2g(小さじ1/2)  |
| 片栗粉   | 10g(大さじ1)   |
| 揚げ油   | 10g(大さじ1)   |
| 白ねぎ   | 10g(4cm)    |
| ごま油   | 4g(小さじ1)    |
| 酢     | 8g(大さじ1/2)  |
| 砂糖    | 3g(小さじ1)    |
| 濃口醤油  | 10g(大さじ1/2) |
| チンゲン菜 | 60g(2/3株)   |

#### <作り方>

- ① 白ねぎは小口切りにする。チンゲン菜は2～3cm幅に切り、さっと茹でて水気をきる。
- ② 白身魚に酒、おろし生姜を振り、30分程度置く。
- ③ ②の白身魚に片栗粉をまぶし、油で揚げる。
- ④ ①の白ねぎとAの調味料を合わせ、漬けダレを作る。
- ⑤ ③の白身魚を、④の漬けダレに漬ける。
- ⑥ ⑤の白身魚と①のチンゲン菜を皿に盛り付け、残った漬けダレをかける。



#### 1人あたり

|        |         |       |      |
|--------|---------|-------|------|
| ●エネルギー | 156kcal | ●塩分   | 0.9g |
| ●たんぱく質 | 13.1g   | ●食物繊維 | 0.6g |
| ●脂質    | 7.1g    |       |      |

白ねぎやごま油の香り、酢の酸味を漬けダレに使用しており、魚に下味がなくてもおいしく食べられます。



## 栄養管理室が厚生労働大臣表彰を受彰しました

厚生労働省が実施している令和元年度栄養関係厚生労働大臣表彰にて当院は「多年にわたり栄養改善に尽力し、給食の管理運営が特に優秀であり、他の模範とすべき給食施設」として厚生労働大臣表彰を受彰しました。管理栄養士による入院患者への適切な栄養管理、透析患者さんへの集団指導や継続的な食生活支援、地域住民に対する健康教室の実施などが高く評価されました。この受彰を励みに、今後も患者さまや地域住民の皆様に対する適切な栄養指導と、安全で美味しい食事の提供を心がけていきたいと思っております。



## マンモPETをテレビで特集していただきました

山口県では、女性特有のがんである乳がん、子宮がんについて関心をもってもらい、定期的な検診を受診する大切さを理解していただくため、毎年10月を「やまぐちピンクリボン月間」と定めています。この度、その一環としてyabよりセントヒル病院のマンモPETについての特集をしていただきました。当院では乳がん検診に有用なマンモPETを含めた各種PET検診コースをご用意しておりますので、気になる方はコールセンターにお問い合わせください。  
(フリーダイヤル☎0120-169-984)



## きららドームリレーマラソン2019に参加しました

11月24日(日)セントヒル病院マラソン部はきららドームリレーマラソン2019に参加しました。このマラソンは1チーム2名～10名で42.195kmを走りぬくりレーマラソンです。医師、薬剤部、事務部の連合軍でチームSTH(A)、STH(B)の2チームが参加し、結果は一般の部でSTH(A) 26位(3時間8分38秒)、STH(B) 75位(3時間48分44秒)という結果でした。阿知須の海風と、地元の方々の熱い声援に背中を押してもらい無事にリレーマラソンを完走することができました。





# スタッフ募集中

セントヒル病院は、長く働いていける職場を目指しています。私たちと一緒に働いてみませんか？

|       |                                                                      |
|-------|----------------------------------------------------------------------|
| 募集職種  | 作業療法士 ▶ 募集人員 2 名                                                     |
| 勤務内容  | 入院及び外来の作業療法業務                                                        |
| 資格・経験 | 作業療法士免許、経験者優遇                                                        |
| 勤務時間  | 8:30～17:30(休憩60分)<br>*時間外有り 月平均 1時間 *休日／原則として週休2日<br>年末年始休暇5日、夏季休暇3日 |
| 給 与   | [基本給] 月額210,000円～239,400円<br>[昇 給] 年1回 [賞 与] 年2回 計4ヵ月分(業績による変動有り)    |
| 諸 手 当 | [住宅手当] 10,000円／月(借家の世帯主であること)<br>[通勤手当] 通勤距離に応じ、最高20,000円／月まで支給      |
| 社会保険  | 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険                                                  |
| 退職金制度 | 確定給付企業年金制度有り(勤続3年以上)                                                 |
| 採用担当者 | 総務部長／小林 昌信 TEL.(0836)51-5111                                         |

## 患 者 さ ま の 権 利

### 1. 人権を尊重される権利

- 疾病の種類、社会的立場等に関わらず、すべての人には良質な医療を平等かつ公平に受けられる権利があります。患者さまは個々の人格や価値観などを尊重され、自らの意見を述べる権利があります。
- 人道的ターミナルケアを受ける権利及びリビングウィルを尊重し、できる限り尊厳を保ちつつ死を迎える為にあらゆる可能な支援を受ける権利があります。

### 2. 最善の医療を安全に受けられる権利

- 常に患者さまご自身にとって最善の医療を受ける権利があります。

### 3. プライバシーが守られる権利

- ご提供いただいた病気に関わる私的な情報や診療の経過で得られた情報は当院の規程に従い厳正に取り扱います。患者さま自身の許可なく第三者へ提供しません。
- 医療の発展のため、治療の成果等を研究や教育へ活用させていただくことがあります。使用の際には、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 4. 医療の情報を知る権利

- ご自身のカルテに記載された自分自身の情報を開示され、自己の健康状態について情報を得る権利があります。

### 5. 理解し納得できるまで説明を受ける権利

- 治療や検査の必要性や効果、危険性、他の治療方法の有無などについて、わかりやすい言葉や方法での説明を求める権利があります。

### 6. 医療行為を選択する権利

- 自分の意思で主体的に治療方法等を決定することができます。また、複数の専門医等(セカンドオピニオン)の意見を求めたり、他の医療機関へ移動する事も出来ます。してほしくない治療を断ることもできます。
- 他の医師の意見を求めることで不利な扱いを受けることはありません。

平成14年9月10日作成  
平成19年11月8日改定  
平成20年11月6日改定  
平成24年4月1日見直し



患者さまを  
ご紹介いただける  
医療機関へ

患者さまの診療情報提供書を事前にお受けしています。

診療情報提供書を当院地域医療連携室

TEL.0836-39-7496 FAX.0836-54-0911 へお願いします。

FAXの受付は平日(月曜日～金曜日)9時～17時となっています。